

# やまもり通信 vol.84

田んぼでカエルたちの大合唱が聞こえてきます。  
今年もそろそろ梅雨入りかな。



【加子母の情景】昼間は暑くても夜はひんやり、カエルの歌のその後は静かな夜です。

### 【彩都やまもり 6月7月 彩輝館ギャラリー展示情報】

「自然の中でリフレッシュ!  
緑の絶景と出会う岐阜の山旅」を開催します

【期間】6月1日(木)～8月21日(月)

※6月21日(水)～6月30日(金)の間中断

自然大国・岐阜。新緑が色濃く清々しい季節がやってまいりました。きれいな空気を吸いながら自然の中を歩くと気持ちがいいもの。心も身体もリフレッシュできそうですね。山歩きやハイキングなど岐阜の自然を満喫できるおすすめスポットをご紹介します。



遊水窯「梅雨を彩る癒しの陶器たち」を開催します

【期間】6月21日(水)～6月30日(金)

彩都やまもり近郊で活動されている「遊水窯」の窯仲間 6 人による作品展。6月、水無月という季節に彩りと癒しを感じさせてくれる作品を作ってくださいました。6人の個性あふれる陶器をご覧は是非お越しください。



### 【6月7月のイベント情報】

「ミニやまもり市」を開催します

恒例の「産直市」と東濃ひのきを使った「父の日ワークショップ」、岐阜の食材を使ったcaféアリスでの特別ランチ。“岐阜”を感じる1日限りのイベントです。

※ワークショップ：500円 / 枚

【日時】6月4日(日)9時半～15時頃

※売り切れ次第終了

【場所】彩都やまもり敷地内



「筆ペンアート体験教室」を開催します

ほんわかとした温かみのある筆文字で暑中見舞いを作りませんか?柔らかい和の雰囲気漂う筆文字に水筆で淡い色味の絵を添えれば心温まる素敵なメッセージカードが簡単に作れます。

【日時】7月13日(木) 10時～12時

【場所】彩都やまもり 彩輝館会議室

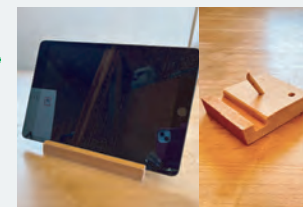
【会費】3000円(材料費込み、ドリンク付き) 【定員】4名

【申込先】彩都やまもり ☎072-739-6046



彩都やまもりの  
これどない?

お手軽スマホスタンド



SDGsの取り組みが日本で本格的に始まったのは2016年。SDGsとは2016年から2030年までの15年間で達成すべき世界共通の17つの目標です。

UPCYCLE(アップサイクル)は本来捨てられるはずの廃材やごみ、不要になったものを新しく価値のあるものに変えること。彩都やまもりでは、お家づくりをする際に出た東濃ひのきの廃材や木端などを使ってアップサイクルした木工品をいくつか販売しています。

この「お手軽スマホスタンド」もその1つ。スマホはもちろん、写真やメッセージカードなども立てられるとあって、使い勝手抜群の人気商品です。大小2つのサイズがあり、大きいものはiPad置きにぴったり。気になる方、興味のある方はぜひ彩都やまもりのギャラリーへお越しください。

【お問合せ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)

※最新情報は随時、  
彩都やまもりHP  
(<https://yamamori.site>)や  
facebookでご確認ください。



やまもりHP



やまもりfacebook

彩都やまもり  
ひつぱと日記

新たなシンボルツリー  
「ナンジャモンジャの木」

彩都やまもりの円形サークルに今年4月、新しい木を植えてもらいました。

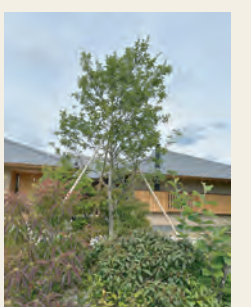
その名は「ナンジャモンジャの木」、正式名称「ヒトツバダゴ」。「ナンジャモンジャ」という名前、昔の人が見慣れない木や珍しい木を呼ぶときに付けていた愛称だそうで、別の地域では「ニレ」や「ボダイジュ」、「クスノキ」などもナンジャモンジャと呼ばれているそうです。

この「ヒトツバダゴ」、全国的にも珍しく生息する地域がごく一部、しかも対馬、岐阜県東濃地方、愛知県の本津川流域と点在していて、岐阜県では絶滅危惧種に指定されています。

岐阜県東濃地方では「ナンジャモンジャの木」として親しまれているヒトツバダゴ。

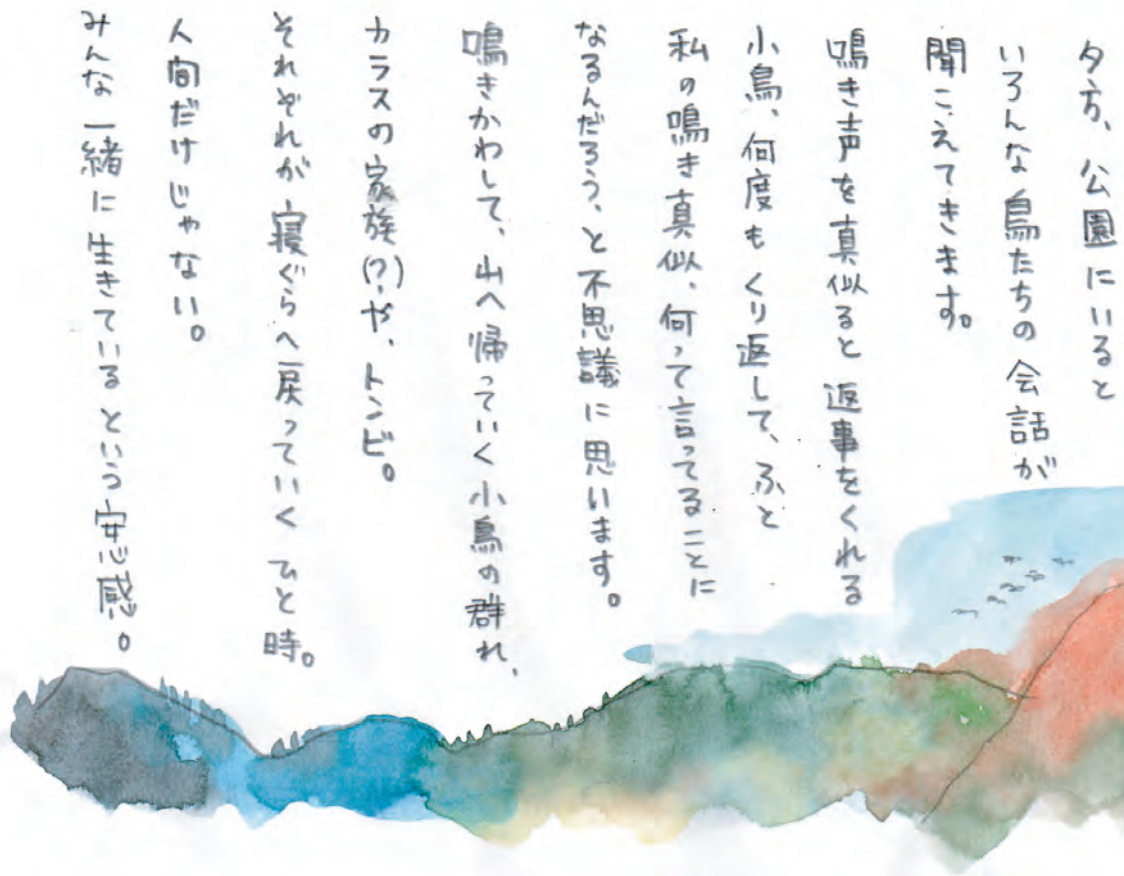
育てば高さ30mにもなる高木で、5月ごろには白い可憐な花をたくさん咲かせます。

彩都やまもりのシンボリック的存在になってくれるといいですね。





# 夕暮れ時の世界



本間希代子 絵描きイラストレーター 名古屋生まれ。加子母に移住して25年目。古楽器奏者の夫と娘と日々バタバタと加子母ライフを楽しんでいます。アトリエ玉手箱 <http://febako.jp>



大西琢也さん

他府県から移住し岐阜に暮らす「人」に焦点をあわせた企画、今回は福島県から郡上市に移住された大西琢也さんにお話しをお伺いしました。(やまもり通信編集室・以下「や」)

や) 大西さんは火起師(ひおこし)という変わった肩書をお持ちですが(笑)、経歴からお聞かせ願えますか？

大西) はい、私は和歌山県で生まれ神奈川県で育ちました。祖父からの伝統で5歳から富士山へ登拝するなど、外遊び大好きの子供でした。大学で考古学を専攻し卒業後は縄文丸木舟で航海実験や北米・アフリカ・ヨーロッパの各大陸最高峰に登頂しました。2008年から福島県で暮らし、東日本大震災にあり、縁あって避難先を選んだのが岐阜県郡上市です。この石徹白(いとしろ)地区で地域に根ざした「場づくり」や「共に育むキョウイク」、地域資源を活用した「まちづくり」に取り組んでいます。

や) 具体的には？

大西) 私は20代から人と組織の「根っこ」を育む自然学校「NPO法人森の遊学舎」を主宰しています。古今東西の知恵を自らの暮らしで探求しつつ、地域の自然、人、文化を活かした共育プログラムを開発してきました。特



に「雑揉式火起こし」は世界8カ国26地点、国内の27地点以上で実践し3万人以上が体験しています。「縄文人になろう！」や「防災トレーニングキャンプ」の他に、自然体験指導者や保育士などの方々へ「危機管理講座」を行っています。講演やワークショップ以外に執筆著書出版準備中)もしてきました。

や) これからはどのように？

大西) 今まで森や山に生かされてきたと思っ

ているので自然に恩返しをしたいです。地域や森で遊び、人が学び、関わりあい、育ちあう機会や場を作るお手伝いができたらと思います。最近熱効率が最高で共同体の要にもなる「愛農かまど」の普及や企業の社会貢献活動で「森づくり」の伴走をしています。岐阜に住んでいます。関西に親戚がいたり、馴染みがあります。皆様と大いに交流したいのでイベントなどにぜひお呼びください。



NPO法人 森の遊学舎 代表理事 大西琢也 / ONISHI TAKUYA  
E-mail: yajin@ugaku.com  
<http://www.ugaku.com>

2003年火起こしinエジプト

※まめII東濃地方の方言「元気」という意味

# 加子母の人 山守日記17 第75回 食べ物に見る春と夏

御山守内木彦七の『御山方御用井所持日記』には、季節ごとの旬な食べ物についても書いてあります。山里加子母には、自然の恵みがいっぱい。江戸時代の加子母人も美しく食べていたんでしょうね。

## ●春は山菜

彦七達は春になると、ぜんまい・ふきのとう・わらび・せりなどを採りに山に向かいました。

明和2年(一七六五) 3月12日の日記には「雲付く入雲也、昼比彦七夫婦・おすえ、ぜんまい取二向ひ山へ相越、手前より杉が洞・栃山へ出帰ル也、ぜんまい一籠取帰ル也」とあります。

この日は曇りで次第に雲行きが怪しくなっていたが、昼頃に彦七夫婦と彦七の姉が妹に当たりおすえは、ぜんまいを採りに山へ向かいました。この日の収穫は一籠分。杉が洞では新も一緒に切ってきたようです。

自分達で山菜採りをするだけでなく、村を訪れた商人から山菜を購入することもあるようです。付知村の紙漉き平八が賃金稼ぎの為に売りにきたことも。彦七は早速購入して「漬けわらび」にしたようです。どんなお味でしょうね。

## ●夏は涼しいもの

今でも食べられているところてんや寒



天も、日記に登場しています。ところてんは、安永2年(一七七三) 7月12日、加子母村に善左衛門という商人がやってきて、善右衛門が三六文で購入しています。ちなみに加子母から50キロほど離れた恵那市山岡町では現在も寒天を干して作っています。

## ●お中元もあった？

夏には盆礼行事があり様々な食べ物も贈られていました。代表的なものは素麺・肴・餅・酒で、肴の中に指鯖(背開きにして塩干した干物)という北陸地方の産物もありました。彦七は、盆礼に来た人達に吸い物や酒、煮麺などでもてなし、一緒に食事をとったと記されています。



参考文献：『四季折々の暮らしと文化100時代の暮らしも生活』② 仲泉剛・高橋貴子著 徳川林政史研究所発行

# 関西発会活動けいじ板

## ●次期役員人事内定

大阪岐阜県人会と関西岐阜県人連合会はこのほど正副会長会を行い、次期役員人事(別記参照)を内定しました。

大阪県人会は寺岡龍彦会長、関西県人連合会は中島紀于会長の留任で、組織改革で新設された法人部会長には岩崎雅明氏(株いわさき・代表取締役社長)が就任します。6月8日に開催される合同定時総会で承認され正式にスタートします。任期はいずれも2年です。

## 大阪岐阜県人会 役員(案)

会長	寺岡 龍彦 (留任)
会長代行	徳田 昭憲 (留任)
副会長	岩崎 雅明 (留任)
副会長	中村 勇雄 (留任)
副会長	長谷 遵 (留任)
副会長	宮崎 誠司 (留任)
副会長	辻 祥光 (留任)
副会長	岩佐 雅史 (留任)
副会長	鳴海 剛史 (留任)
監事	酒井 幹門 (新任)
監事	杉本 雄二 (新任)
監事	杉本 雄一 (新任)
監事	山幡 一雄 (留任)
監事	野田 邦雄 (新任)
最高顧問	岩崎雅明 法人部会長
相談役	寺岡 龍彦 大阪県人会会長
	中島 紀于 連合会会長

## 大阪岐阜県人会 法人部会(いちい会) 役員(案)

部長	岩崎 雅明 (株いわさき 代表取締役社長)
理事	酒井 幹門 (大垣共立銀行 大阪支店長)
理事	杉本 雄二 (十六銀行 大阪支店長)
理事	小島 義弘 (岐阜新聞 取締役大阪支社長)
理事	海蔵 浩展 (中日新聞 大阪支社長)
理事	宮崎 誠司 (宮崎総合法律事務所)
理事	徳田 昭憲 (県人会・連合会会長代行)
理事	寺岡 龍彦 (大阪岐阜県人会会長)
顧問	中島 紀于 (関西岐阜県人連合会会長)

## 関西岐阜県人連合会 役員(案)

会長	中島 紀于 (留任)
会長代行	徳田 昭憲
副会長	大阪・会長代行 (留任)
副会長	(兼事務局長)
副会長	寺岡 龍彦
副会長	大阪岐阜県人会会長(留任)
副会長	桂川 工
副会長	京都岐阜県人会会長(留任)
副会長	高野 文男
理事	岩崎 雅明
理事	大阪・副会長 (留任)
理事	中村 勇雄
理事	大阪・副会長 (留任)
理事	宮崎 誠司
理事	大阪・副会長 (留任)
理事	鳴海 剛史
理事	大阪・事務局長(留任)
理事	岩田 篤
理事	京都・事務局長(留任)
理事	羽田野 求
理事	神戸・事務局長(留任)
理事	山田 美智子
理事	神戸・副会長 (新任)